別紙様式第3号(別記3関係)

みどりの食料システム戦略推進交付金(有機転換推進事業)事業実施計画書

番 号 年 月 日

都道府県知事 殿

事業実施主体名 代表者氏名

みどりの食料システム戦略推進交付金交付等要綱(令和5年3月30日付け4環バ第465号農林水産事務次官依命通知)第5第2項の規定に基づき、事業実施計画を提出する。

- (注1) 別添(事業実施計画)を添付すること。
- (注2) 各書式については必要に応じて、適宜、行を追加して記載すること。
- (注3) 事業実施年度及び目標年度における事業実施状況等の報告の際、本様式別添に準 じて事業実施結果に係る報告書を作成し、事業実施状況等の報告書に添付すること。
- (注4) 別紙様式第 10 号(環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート) と ともに提出すること。

有機転換推進事業 事業実施計画

第1 事業実施主体の概要等

事業	実施主体名	
事業	実施主体の概要 (団体概要)	
※ 1	責任体制が把握できるように記載	載すること。
2	交付金事業を実施できる能力(身	財政状況含む)、交付金事業に係る経理その他の
	事務について適切な管理体制及び処理	D.理能力を有する内容を示すこと。
	氏名 (ふりがな)	
	所属(部署名等)	
	役職	
	所在地	
	電話番号	FAX
	メールアドレス	URL
事業	実施地域	

第2 事業費総括表

77	区分	事業費	負担区分		事業の委託	備考
	四月	ず 未負			ず未り安託	加力
		m	交付金	事業実施主体	1 . 1 7 . 3 . 11 .	
		Ħ	P	Ħ	(1)委託先	
					(2)委託す	
					る事業の内	
					容及びそれ	
					に要する経	
					費	
اِ	計					

- (注) 1 区分欄は、別記2の第1の3(1)から(2)に掲げる事業を記載すること。
 - 2 備考欄には、区分欄に掲げる事業の経費及び事業の委託欄に掲げる(2)の経費の根拠 (経費内容、単価、数量、員数等)を詳細に記載すること。また、当該事業の直接的な実 施者を記載する。
 - 3 備考欄は別葉とすることができる。

第3 事業の内容

(1) 有機転換支援

有機転換支援実施総括表(別紙1-1)のとおり

(2) 推進事業

1 推進・指導等の計画

実施時期	内容	備考
月		

2 実施状況の確認事務等の計画

実施時期	体制・件数等	備考

3 その他推進事業の実施に必要な事項

実施時期	内容・事業量等	備考

(3) 成果目標

目標年度	成果目標	成果の検証方法				
令和 年度						

物类点用力	市町村名		·町村名 農業者名	5町村名 農業者名	町村名 農業者名		交付単価	合計					品目別の	転換予定	面積(a)					交付予定金額	
都道府県名		名 市町村名	市町村名				展耒省名	① (円/10a)	② (a)	水稲	麦類	豆類	いも類	野菜 (葉茎菜 類)	野菜 (果菜 類)	野菜 (根菜 類)	果樹	工芸作物	花き	その他	①×②/10 (円)
合計																					

⁽注) 1 実施面積②は農業者ごとに品目別の面積を合計して、a未満を切り捨てた値を記入すること。

² ②の合計は品目別面積の総合計と合致しない可能性がある。

有機転換推進事業交付申請書(報告書)

000 殿

「みどりの食料システム戦略推進交付金交付等要綱(令和5年3月30日付け4環バ第465号農林水産事務次官依命通知)」を了知した上で、有機転換推進事業の交付を受けたいので、下記のとおり申請(報告)します。また、別紙「有機転換チェックシート」の記載内容について相違ないことを誓約します。

提出年月日 年 月 日

交付申請者氏名

住所

電話番号

1. 申請(報告)面積

品目	予定(実施)面積(a)	備考
水稲		
麦類		
豆類		
いも類		
野菜 (葉茎菜類)		
野菜 (果菜類)		
野菜 (根菜類)		
果樹		
工芸作物		
花き		
その他		
合計		

(添付書類)

- ・有機栽培管理シート(別紙様式第21号-2)
- ・有機転換チェックシート(別紙様式第21号-3)
- ・その他事業実施主体が求める書類

2. 口座情報

	フリガナ								
	口座名義								
П		(〒	_)					
座名義	住所				都道 府県	1			市区 町村
義欄									
	電話		_	_		FAX	_	_	_

	金融	機関(ゆう	ちょ銀行												
				3	融機関	名						支师	5名		
交							188 723	農業協同組合 銀行 信用金庫							
付		信用組合 労働金庫 信													
金		預金種別(該当のものにレ印をつけてください)								口座番	号(7ケタに	満たない場	骨は、右	づめで記え	()
の振		普通		当座		別段		通知							
込	ゆう	ちょ銀行													
	Ī	2号(6ケタ	目がある	場合は※	部分に記	2入)			番	香号(右づ	めで記入)				
座	1				0	*								1	

(注) 交付金の振込口座の通帳の写し(口座番号、口座名義が分かる箇所)を添付

ほ場一覧

番号	所在地	面積(a)	品目	備考

ほ場1筆ごとの状態が把握できる地図を添付すること。

種苗一覧

番号	作物名	種・苗の別	j	入手方法 購入先	種苗の種類	使用農薬名	有機種苗の 入手困難な理由	備考
				M17 172				

資材一覧

(1)肥料及び土壌改良資材(有機農産物の日本農林規格別表1関係)

番号	資材名等	製造者名等	使用対象品目	使用時期	使用目的	備考

(2)農薬(有機農産物の日本農林規格別表2関係)

番号	資材名等	製造者名等	使用対象品目	使用時期	使用目的	備考
						_

(3)薬剤(有機農産物の日本農林規格別表4関係)

番号	資材名等	製造者名等	使用対象品目	使用時期	使用目的	備考

(4)調製用等資材(有機農産物の日本農林規格別表5関係)

番号	資材名等	製造者名等	使用対象品目	使用時期	使用目的	備考

有機転換チェックシート

土づくりを適切に実施しているか □ 実施している □ 実施していない	有機栽培由来の種子、苗等を使用しているか □ 使用している □ 有機栽培由来の種子、苗等の入手が困難又は 品種の維持更新に必要なため使用していない
有害動植物の防除を適切に実施しているか □ 実施している □ 実施していない	使用する種子、苗等に組換えDNA技術を使用していないか
有機農産物の日本農林規格に定める使用禁止資材を使用していないか □ 使用していない □ 使用している	収穫した農産物に放射線照射を行っていないか
周辺から使用禁止資材が飛来し又は流入しないよう必要な措置を講じているか □ 講じている □ 講じていない	 取組品目において、これまで有機農業(交付等要綱別記2第1の2(1)に定める農法)を実施していないか 実施していない 実施していない 実施している ※ この項目に誤りがあった場合、交付の対象となりませんので承知ください
	上記内容に相違ありません。 年 月 日 氏名

)

自家加工販売(直売所等での販売)計画書

(自家加工販売等農業者)住	所	
氏	名	

	Part to the contract of the	/ 1 · 1 ·	
1		(五三中本人の形主)=	Thurthu
1	日冬川山駅か	(直売所等での販売) 詰	i

自家加工販売や直売所等での販売を予定する農業者については、本様式に必要事項を記載し、提出してください。

① 原料農産物使用計画

原料の農産物名	年間使用量(単位: kg)	左記のうち 自ら生産した数量(単位:kg)

② 商品の加工販売計画(直売所等での販売計画)及び販売形態

商品名等	年間販売予定数量(単位: kg)	商品の販売形態 (該当する形態に○を付けてください)
		自社店頭販売・直売所・宅配販売・その他
合 計		

販売形態が「その他」である場合の具体的な販売方法(

③ 商品の主な販売先 (該当する販売先に)を付けてください。直売所等の場合は名称等を記載してください。)

一般消費者	卸売業者			小売業者	スーパー等
直売所等	直売	折等の	名称:		
※ 複数の直売所等に販売している場合は、主な販売先の直売所	所	在	地:		
等の情報を記載してください。	連	絡	先:		

組織名又は法人名

氏名(法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (農業経営体向け)

申請時

(します)	
	(1) 適正な施肥
	① 肥料の適正な保管
	② 肥料の使用状況等の記録・保存に努める
	③ 作物特性やデータに基づく施肥設計を検討
	④ 有機物の適正な施用による土づくりを検討
	(2) 適正な防除
	⑤ 農薬の適正な使用・保管
	⑥ 農薬の使用状況等の記録・保存
	⑦ 病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める
	⑧ 病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
	⑨ 多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討
	(3) エネルギーの節減
	⑩ 農機、ハウス等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
	⑪ 省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める
	(4) 悪臭及び害虫の発生防止
	⑫ 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
	③ プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
	(6) 生物多様性への悪影響の防止
	病害虫・雑草の発生状況を把握した上で防除の要否及びタイミングの判断に努める
	⑮ 多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討(再掲)
	(7) 環境関係法令の遵守等
	⑤ みどりの食料システム戦略の理解
	団 多様な防除方法(防除資材、使用方法)を活用した防除を検討(再掲)
	18 農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める
	⑲ 正しい知識に基づく作業安全に努める

組織名又は法人名

氏名(法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (畜産経営体向け)

申請時

/	ı	+	+	١
(+	d	
(\sim	6	フ	1

	(1)適正な施肥
	※飼料生産を行う場合(該当しない □)
	肥料の適正な保管
	※飼料生産を行う場合(該当しない □)
	肥料の使用状況等の記録・保存に努める
	(2)適正な防除
	農薬の適正な使用・保管
	※飼料生産を行う場合(該当しない □) ④ ***********************************
	農薬の使用状況等の記録・保存
	※飼料生産を行う場合(該当しない
	病害虫・雑草が発生しにくい生産条件の整備を検討
	(3) エネルギーの節減
	畜舎内の照明、温度管理等施設・機械等の使用や導入に際して、不必要・非効率なエ ⑥ ふまず、迷夢なよりないたまに収ける
	・ ネルギー消費をしないように努める
	(4)悪臭及び害虫の発生防止
	② 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
	※飼養頭数が一定規模以上の場合(該当しない □) ⑧ ロスがよりの特別を選択される。
	家畜排せつ物の管理基準の遵守
	(5)廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
	③ プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
	(6)生物多様性への悪影響の防止 ※特定事業場である場合(該当しない □)
	(7)環境関係法令の遵守等
	(1) みどりの食料システム戦略の理解
	(2) 関係法令の遵守
	(4) アニマルウェルフェアの考えに基づいた飼養管理の考え方を認識している (5) 農業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める
	(b) 辰未候機寺の表直・早间の適切な登開と官珪の美脆に労める (b) 正しい知識に基づく作業安全に努める
\Box	

注 ※の記載内容に「該当しない」場合には口にチェックしてください。この場合、当該項目のチェックは不要です。

組織名又は法人名

氏名(法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (林業事業者向け)

申請時	
-----	--

(します)		
	(1)適正な施肥
	1)	※種苗生産を行う場合(該当しない □)
	1)	肥料の適正な保管
	(2)	※種苗生産を行う場合(該当しない □)
	٧)	肥料の使用状況等の記録・保存に努める
	(2)適正な防除
	(3)	※農薬を使用する場合(該当しない □)
	9	農薬の適正な使用・保管
	(4)	※農薬を使用する場合(該当しない □)
	Ð	農薬の使用状況等の記録・保存
	(3)エネルギーの節減
	(5)	林業機械や施設の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
	6	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める
	(4)悪臭及び害虫の発生防止
	7	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
	(5)廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
	8	廃棄物の削減に努め、適正に処理
	9	未利用材の有効活用を検討
	(6)生物多様性への悪影響の防止
	10	生物多様性に配慮した事業実施(物資調達、施業等)に努める
	(7)環境関係法令の遵守等
	11)	みどりの食料システム戦略の理解
	12	関係法令の遵守
	13)	林業機械等の装置・車両の適切な整備と管理の実施に努める
	(14)	正しい知識に基づく作業安全に努める

注 ※の記載内容に「該当しない」場合には□にチェックしてください。この場合、当該項目のチェックは不要です

組織名又は法人名

氏名(法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (漁業経営体向け)

申請時

(します)	
	(1)適正な施肥
	※藻場の維持管理等のための施肥を行う場合(該当しない 🗌)
	肥料の適正な保管
	※藻場の維持管理等のための施肥を行う場合(該当しない 🗌)
	肥料の使用状況等の記録・保存に努める
	(2) 適正な防除
	※養殖を行う場合(該当しない□)
	水産用医薬品の適正な使用
	(3)エネルギーの節減
	④ 漁船・機械等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
	⑤ 省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないように努める
	(4) 悪臭及び害虫の発生防止
	⑥ 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
	⑦ プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
	※養殖を行う場合(該当しない□)
	生餌給餌から配合飼料への転換もしくは給餌効率の向上等による給餌量削減を検討
	(6)生物多様性への悪影響の防止
	※資源管理協定を締結している場合(該当しない 🗌)
	資源管理協定の遵守
	※養殖を行う場合(該当しない□)⑩ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	人工種苗生産技術が確立した魚種について、人工種苗使用を検討
	※漁場改善計画を策定している場合(該当しない 📙)
	○ 漁場改善計画の遵守(7)環境関係法令の遵守等
	(7) 環境関係法事の選引等 (2) みどりの食料システム戦略の理解
	(3) 関係法令の遵守 (4) 漁船等の装置・機材の適切な整備と管理の実施に努める
	(1) 温船寺の装直・機材の週切な整備と官埋の実施に努める (15) 正しい知識に基づく作業安全に努める
\Box	⋓ ഥしい知識に掛けてF未女王に労める

注 ※の記載内容に「該当しない」場合には□にチェックしてください。この場合、当該項目のチェックは不要です

組織名又は法人名

氏名 (法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (食品関連事業者向け)

申請時

1	1	+	\rightarrow	١
(Ι.	+	d)

(1)適正な施肥
① 環境負荷低減に配慮した原料等の調達を検討
(2) 適正な防除
② 環境負荷低減に配慮した原料等の調達を検討(再掲)
(3) エネルギーの節減
③ 工場・倉庫・車両等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める
④ 省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないことを検討
⑤ 環境負荷低減に配慮した商品、原料等の調達を検討
(4) 悪臭及び害虫の発生防止
⑥ 悪臭・害虫の発生防止・低減に努める
(5)廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分
食品ロスの削減に努める
⑧ プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理
③ 資源の再利用を検討
(6) 生物多様性への悪影響の防止
※生物多様性への影響が想定される工事等を実施する場合(該当しない 🔲)
生物多様性に配慮した事業実施に努める
※特定事業場である場合(該当しない □)
排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守
(7)環境関係法令の遵守等
② みどりの食料システム戦略の理解
③ 関係法令の遵守
④ 環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努める
※機械等を扱う事業者である場合(該当しない 🗋)
機械等の適切な整備と管理に努める
⑥ 正しい知識に基づく作業安全に努める

- 注1 (5) ⑦については、と畜場の場合には□にチェックしてください。この場合、当該項目のチェックは不要です。
- 注 2 (6) ⑩、 (6) ⑪、 (7) ⑮の※の記載内容に「該当しない」場合には \square にチェックしてください。 この場合、当該項目のチェックは不要です。

組織名又は法人名

氏名(法人の場合は代表者名)

環境負荷低減のクロスコンプライアンス チェックシート (民間事業者・自治体等向け)

申請時

(します)								
	(1)適正な施肥							
	※農産物等の調達を行う場合(該当しない 🗌)							
	環境負荷低減に配慮した農産物等の調達を検討							
	(2)適正な防除							
	※農産物等の調達を行う場合(該当しない □)							
Ш	環境負荷低減に配慮した農産物等の調達を検討(再掲)							
	(3)エネルギーの節減							
	③ オフィスや車両・機械等の電気・燃料の使用状況の記録・保存に努める							
	省エネを意識し、不必要・非効率なエネルギー消費をしないこと(照明、空調、							
	ウォームビズ・クールビス、燃費効率のよい機械の利用等)を検討							
□ 環境負荷低減に配慮した商品、原料等の調達を検討								
	(4)悪臭及び害虫の発生防止							
	※肥料・飼料等の製造を行う場合(該当しない □)							
	悪臭・害虫の発生防止・低減に努める							
	(5) 廃棄物の発生抑制、適正な循環的な利用及び適正な処分							
	⑦ プラ等廃棄物の削減に努め、適正に処理							
	⑧ 資源の再利用を検討							
	(6)生物多様性への悪影響の防止							
	※生物多様性への影響が想定される工事等を実施する場合(該当しない □) ○							
Ш	生物多様性に配慮した事業実施に努める							
	┃ ┃※特定事業場である場合(該当しない ┃ ┃)							

※機械等を扱う事業者である場合(該当しない □)

排水処理に係る水質汚濁防止法の遵守

③ 環境配慮の取組方針の策定や研修の実施に努める

(7)環境関係法令の遵守等

② 関係法令の遵守

① みどりの食料システム戦略の理解

注 ※の記載内容に「該当しない」場合には□にチェックしてください。この場合、当該項目のチェックは不要です

所在地 事業実施主体名 代表者氏名

環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート実施者リスト

以下の者は、環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート(別記様式第10号 $-1\sim6$)のうち該当するチェックシートに記載された各取組について、事業実施期間中に実施することを報告します。

環境負荷低減のクロスコンプライアンスチェックシート実施者リスト

714707								
番	 組織名、法人名及び代表者氏名又は協議会構成員氏名	対象チェックシート						
号	組献石、伝八石及UTI衣有八石又は励哉云博成員八石 	農	畜	林	漁	食	民	
1	00 00							
2	$\triangle \triangle$ 法人 代表 $\triangle \triangle$ $\triangle \triangle$							
3								
4								
5								
6								
7								

(注1)別記9の別添に定める環境負荷低減のクロスコンプライアンスに取り組む全ての者を上記の表に記載してください。必要に応じて行を増やしてください。

(注2) 「対象チェックシート」の略称については、以下のとおりです。該当する業種に チェック (「●」等)を記載してください。

農:農業経営体向け(別紙様式第10号-1)

畜:畜産経営体向け(別紙様式第10号-2)

林:林業事業者向け(別紙様式第10号-3)

水:漁業経営体向け(別紙様式第10号-4)

食:食品関連事業者向け(別紙様式第10号-5)

民:民間事業者・自治体等向け(別紙様式第10号-6)

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書(○○○○○○○)

									(○○都道府県) ○年度)														
万区町村名	事業実施主体 名	目標項目	目標年度	成果目標	計画時の 目標値	現状値 (B)	実績値 (C)	達成率 (D) (C-B) /	事業の実施状況概要	総事業費	交付金	交付金	(円) 市町村	その他	完了年月日		事業実施主体の自己点検結果 及び自己評価	都道府!	具における事業実施状況の点検結果 及び評価結果	備考			
Pr-11144	名	ниски	HWITE	100 Pt 100	(A)	(B)	(C)	(C-B) / (A-B)	THUMBIOLINA	(円)	父打里	都道府 県費	費	ての他	261 + 211	達成率	点検結果及び評価	評価	点検結果及び評価	- 100-7			
		成果目			900	400	750	70.0%								70.0%	(事業成果) (課題) (改善方法) (今後の方策)	A	(評価結果)				
		日標			20	0	18	90.0%								90.0%	(事業成果) (課題) (改善方法) (今後の方策) (点檢結果)	A	(評価結果) (点輪結果)				
		実績(初			900	400	650	50.0%								50.0%	(課題) (改善方法)						
OO市	事業実施主体	(初年度)	(○ 目 ○ 標		20	0	10	50.0%								50.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
	A	実績(第	年年 度)		900	400	700	60.0%								60.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
		(第2年度)	2 年度)	2 年度)	2 年度)			20	0	14	70.0%								70.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)	
		実績(第			900	400	750	70.0%								70.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
		(第3年度)			20	0	18	90.0%								90.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
		成果目標			700	300	500	50.0%								50.0%	(事業成果) (課題) (改善方法) (今後の方策)	В	(評価結果)				
○○市	事業実施主体	実績 (初年	(□ □ □		700	300	400	25.0%								25. 0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
5011	В	実績 (第2年	年年 度)		700	300	500	50.0%								50.0%	(点檢結果) (課題) (改善方法)		(点検結果)				
		実績 (第3年																					
都道 平均	道府県 達成率							70.0%								70.0%		В		1			
	合所見													ŭ.									

- 総合所見

 (注) 期間として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書(目標作業においては事業実施状況報告書談の評価報告書)を添けすること。 建設中本の職には、事業実施年度(初年税)から1日報告表すでの即の事業の実施技術とのからは、成締総、課題及び課題の改善方法について、影戦すること。 4 事業実施保証(初年税)から1日報告集でかり即の事業の支援技術については、成総総、課題及び課題の改善方法について、影戦すること。 4 事業実施保証(初年税)を日日年度とも場合は、第2年度、第3年度の意識は工業とも、 5 日報年度におっては、実題及び事場の予算部を追加し、事業の成集、課題、公等方法及い令負の方策について記載すること。 6 前途所得不労虐求の職には、日間任度における企業本部の合計を事業施性業に協した値を影響すること。 7 事業実施保証(初年税)から日間保予度ではおける事業の際は、事業実施指制に同じて事業実施裁工係る報告書を仲成し、活付すること。 8 前途所得の第22年に対して経過を認め、企業を表現を表現しましても事実を施禁工係の報告書を仲成し、活付すること。 2 確認をおびの以上の公未満 C: 達成をおびの以上の公未満 C: 達成をおびのの以上の公未満 D: 達成本が30の以も大きの未満

番号年月

都道府県知事

(○○農政局長等)

殿

所在地 団体名 代表者氏名

○○年度みどりの食料システム戦略推進交付金 に関する交付決定前着手届

このことについて、下記のとおり条件を了承の上、交付決定前に着手したいので届け出ます。

記

- 1 交付決定を受けるまでの期間内に、天災地変の事由によって実施した事業に損失を生じた場合、これらの損失は、事業実施主体が負担します。
- 2 交付決定を受けた交付金額が交付申請額又は交付申請予定額に達しない場合においても、異議がないこととします。
- 3 当該事業については、着手から交付決定を受けるまでの期間内においては、計画 変更は行わないこととします。

別添

取組内容	事業費	着手予定	完了予定	理由
		年月日	年月日	
	円			

- (注) 1 「事業費」欄は、総事業費(税込)とします。
 - 2 事業実施主体が都道府県の場合は、本届は地方農政局長等に提出します。